【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公表番号】特表2005-538228(P2005-538228A)
【公表日】平成17年12月15日(2005.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2005-049
【出願番号】特願2004-535003(P2004-535003)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/00 (2006.01)
Ｃ０１Ｂ 33/18 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 9/04 (2006.01)
Ｃ０８Ｌ 63/00 (2006.01)
Ｃ０８Ｌ 67/06 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/00
Ｃ０１Ｂ 33/18 Ｅ
Ｃ０８Ｋ 9/04
Ｃ０８Ｌ 63/00 Ｃ
Ｃ０８Ｌ 67/06

【誤訳訂正書】
【提出日】平成18年6月1日(2006.6.1)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２１】
ナノフィラーの変性が実施される溶剤は、好ましくは極性の非プロトン性溶剤、特に好ましくはアセトン、ブタノン、酢酸エチルエステル、メチルイソブチルケトン、テトラヒドロフランおよびジイソプロピルエーテルである。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２６】
凝集体の崩壊を有機的変性の際に有機溶剤中で促進させるためには、変性の前にまたは間に通例の方法での機械エネルギーの追加供与を行うことができる。これは例えば超音波、高速攪拌機、ディソルバー、パールミルまたはローターースターター混合機によって行うことができる。高粘性溶剤を用いる場合にはこれは特に有利な方法であり、有機バインダーをナノ複合材料の製造に溶剤として直接的に用いる場合に特にそうである。バインダーを溶剤として使用しない場合には、使用するべきバインダーを有機変性されたナノフィラーを有機溶剤中に分散した分散物と一緒に直接的に充填することができる。この場合には、バインダーと有機変性されたナノフィラーとの混合物を製造した後に溶剤を除去するかまたはバインダーとナノフィラーとよりなるナノ複合材料を後で使用する際に初めて溶剤を除去する。後者は、特に本発明のナノ複合材料をベースとする溶剤含有塗料の場合に実用的な方法である。しかしながら有機変性されたナノフィラーから溶剤を除きそして乾燥した粉末として更に加工するのが好ましい。この場合には次いで乾燥された有機変性ナ

ノフィラー粉末をバインダーに添加しそして機械エネルギーの供給下に混入する。この混入は例えば超音波、高速攪拌機、ディソルバー、パールミル、ローラースツール(Walzenstuhl) またはローター－スターター混合機によって行うことができる。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４５】
アクリレート基を持つナノフィラーの製造
２５０ｍＬの酢酸エチルエステル中の５．１６ｇの３－メルカプトプロピルトリメトキシシランおよび６．７８ｇのヘキサンジオールジアクリレートに、０℃でN_2－雰囲気でエタノール性ＫＯＨ（３０ｍＬのエタノール中に１．６２ｇのＫＯＨ）を、２０℃の反応温度を超えないようにゆっくり添加する。反応は５分後に終了する。ヨード試験で完全に転化したことを試験する。この反応溶液を飽和ＮａＣｌ溶液と一緒に３度震盪処理し、この処理の後に有機相は中性でそして濁っている。有機相中にエーロジル２００を懸濁させそして１ｍＬの０．５ＮのＨＣｌでの触媒作用で反応させる。室温で２４時間攪拌し、次いで酢酸エチルエステルを回転式蒸発器で留去する。白色の海綿状粉末が得られる。
【実施例４】
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４６】
二酸化チタンをベースとするナノフィラーの製造
２５．０ｇの二酸化チタンＰ２５（Degussa)を３．９４ｇのＥＣＨＴＭＯでシラン化する。この目的のために４００ｇのブタノン中にＰ２５を懸濁させ、ＥＣＨＴＭＯおよび８．８６ｇの１ＮのＨＣｌを滴加しそしてマグネットスタラーで２４時間攪拌する。その後に回転式蒸発器でブタノンを完全に留去する。変性された二酸化チタンＰ２５が海綿状の白色粉末として沈殿する。
【実施例５】
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５１】
ナノ複合材料の摩耗強度
FA.Teledyne 社のタバー(Taber)-摩耗試験器5150を用いて、以下の試料にについて２５００ｇの総負荷量のもとで摩擦ロールＣＳ１７で１０００回転での摩耗量を測定する。
ａ）実施例１ｄの樹脂：ＥＲＬ４２２１中エーロジル２００、ＥＣＨＴＯ２５重量％
ｂ）実施例５の樹脂：　ＥＲＬ４２２１中エーロジルＯＸ５０、ＥＣＨＴＯ２５重量％
ｃ）標準試料：　　フィラー不含ＥＲＬ４２２１
ｄ）実施例６の樹脂：　アクリレート樹脂中エーロジル２００、ＭＥＭＯ２５重量％
ｅ）標準試料：　　フィラー不含のアクリレート樹脂。